

えんぱわ

「すべての人々に、力を。」

EMPOWER

Vol.58

2020年8月



特集

新型コロナウイルス感染症と豪雨災害

今こそ「助け合う」

という関係を考える



今こそ「助け合う」という関係を考える

新型コロナウイルス感染症のパンデミックを、WHO（世界保健機関）が宣言したのは3月11日でした。その後、現在まで世界中で多くの命が失われ、今も終息の糸口が見えていません。エファジャパン（以下、エファ）の支援国でも、教育機関の閉鎖などがあり、子どもたちの生活に大きな影響が出ました。中でもカンボジアの協力団体・SCADP（スキャップ：Street Children Assistance and Development Programme）が運営する児童保護施設では、一時、存続の危機がありました。4月中旬より皆様から寄せられた募金により、その危機を免れました。一方、日本では、新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、7月上旬より九州地方をはじめ各地で、豪雨による甚大な被害が出ました。多くの方が命を落とし、今も被災者の皆様が復旧作業を懸命に続けておられます。その状況を知ったカンボジアのSCADPの児童保護施設で暮らす子どもたち、さらにこれまで多くの日本の皆様からご支援いただいたラオスの支援地の子どもたちから、お見舞いのメッセージが届きました。困難な状況である今こそ、「助け合う」ことが大切なのだと、実感しています。「支援する、支援される」という形から、新しい関係-「助け合う」関係を、今、考える時だと思えます。

カンボジアの子どもたちへの支援

緊急アピール
新型コロナウイルス緊急支援募金
-カンボジア児童保護施設支援のお願い-



エファジャパンのカンボジアで協力団体・SCADPが運営する児童保護施設が現在、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、運営の継続が危ぶまれています。カンボジアの子どもの笑顔のために、エファジャパンでは緊急支援キャンペーンを開始しました。日本国内の状況も現在、先行きが見えない中、大変心苦しいお願いですが、世界が未知の脅威にさらされているからこそ、「無関心」ではなく、「助け合うこと」が大切なのだと思います。みなさまのあたたいご協力、心よりお願い申し上げます。

【銀行振込】
中央労働金庫 市谷支店
（普通）口座番号…1442725 口座名…エファジャパン
三菱UFJ銀行 市谷支店
（普通）口座番号…1340692 口座名…エファジャパン
※銀行振込の方は、お振込み後、事務局までご連絡ください。
後日、寄付金受領証明書をお送りします。
【郵便振込】00190-6-723415 加入者名：エファジャパン
※通信欄に「コロナ・カンボジア」とご記入ください。
※寄付金受領証明書をお送りしますのでお名前、ご住所もご記入ください。

お問い合わせ・ご連絡は事務局までお願いします。
※在米の海外でのご利用はご遠慮ください。
認定NPO法人エファジャパン
Tel 03-3263-0337 Email info@efa-japan.org

カンボジアの協力団体・SCADPから、運営に関する相談が来たのは、4月上旬でした。同団体は、首都プノンペンとタイと国境を接する北部のプレアヴィア州で、保護者と一緒に暮らすことのできない子どもたちを庇護し、一緒に生活をする児童保護施設、さらに公立の小学校が未だ設置されていない地域の子どもたちのための寺子屋教室を運営しています。それら各施設の運営資金を得るため、プノンペンでは幼稚園も開設しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴ない、カンボジア政府がすべての教育機関の閉鎖を指示したのは、3月16日。SCADPもそれに従い、寺子屋教室、幼稚園を閉鎖しました。（8月から順次再開する計画が、7月に発表されています。）幼稚園に通う子どもたちの保護者からの保育料が徴収できなくなり、「このままでは、児童保護施設の運営が困難になり、暮らしている子どもたちが生活できなくなる。」という、深刻な相談でした。

その状況に関してエファでは理事会、事務局で対

応を検討し、4月16日より、「【緊急アピール】新型コロナウイルス緊急支援募金-カンボジア児童保護施設支援のお願い-」という緊急キャンペーンを開始しました。

感謝のメッセージ

皆様から温かく、多大なるご協力をいただき、7月15日で、同キャンペーンは一先ず終了しました。速報値では、378の個人や団体の皆様から、230万円を越えるご協力をいただき、5月より順次、SCADPに送金、児童保護施設は正常に近い形で運営することができています。



●カンボジア・SCADP プノンペンセンターの子どもとスタッフたち

子どもたち、スタッフからは、感謝のメッセージが届いています。「エファジャパンは2007年から、私たちSCADPを常にサポートしてくれています。今回も、私たちの施設、子どもたちを支援するため

に資金調達のプロジェクトを立ち上げてくれました。いただいた資金は、施設で暮らす子どもたち、スタッフ、そして私たちのプロジェクトにとって、とても重要な意味があります。SCADP スタッフと子どもたちを代表して、サポートしてくれた方々に心から感謝します。」(SCADP 代表のイム・ソカリーさんから)

エファからもご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。

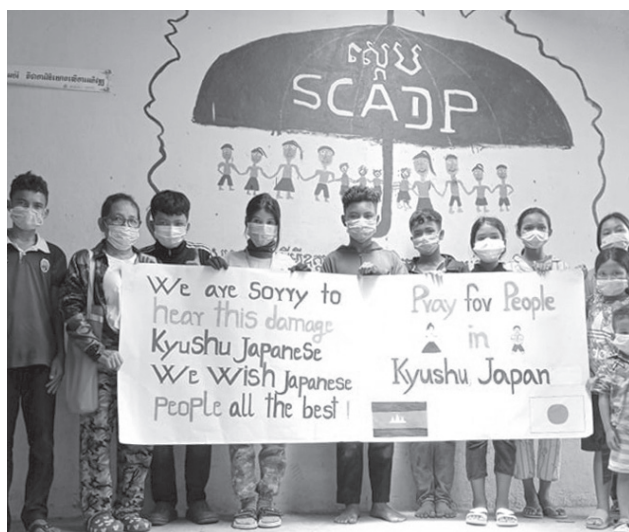
Y 日本を襲った記録的豪雨

その一方、日本では7月3日から、九州地方をはじめ各地を記録的な豪雨が襲いました。熊本県、福岡県、鹿児島県、大分県、佐賀県、長崎県、岐阜県、長野県、静岡県などに、甚大な被害をもたらした豪雨は、80名以上の方々の命を奪いました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。また現在も多くの被災者の皆様が、懸命に復旧作業をせっせとやっています。一日も早く平常の暮らしに戻ることができそうですよ、お祈りしています。

Y ラオス・カンボジアの子どもたちから

そのような状況を知った SCADP の児童保護施設で暮らす子どもたちから、お見舞いのメッセージが届いたのは、7月上旬でした。マスク姿で掲げる大きな紙には、

“この度の日本 - 九州の皆様を襲った災害に、心からお見舞い申し上げます。私たちは、日本の人たちのために祈っています”



●カンボジア・SCADP プレアビヒアセンターで暮らす子どもたち

と書かれていました。温かい気持ちが、伝わってき

ました。

その後、エファが支援を続けている、ラオスの首都ビエンチャン都にある、ビエンチャン都立図書館を利用する子どもたちからも、日本での豪雨被害を知り、メッセージが届きました。

“私たちは、今回の大雨で被害を受けたすべての日本の人たちのために祈っています。私たちはいつも皆さんのそばにいます。どうか諦めないで...”



●ラオス・ビエンチャン都立図書館を利用する子どもたち

これらのメッセージは、動画でも送られてきました。エファの公式フェイスブックでご覧になることができます。



Y 「助け合う」こと

2011年に起きた東日本大震災に際して、日本は、160以上の国・地域から支援表明を受けました。その中には、それまで日本が支援してきた多くの国や地域が含まれていました。

今回の子どもたちから送られて来たメッセージは、これからの国際協力は、「支援する、支援される」という関係ではなく、「助け合う」という関係が、大切なのだということを、改めて気づかせてくれました。

歴史的に、これまで人間社会は、困難な状況に陥ると、様々な形で利己的になってきたのではないかと感じます。世界の国や地域の人々が、お互いに「学び合い」、「助け合う」ことが、今、とても重要だと思います。私たちエファでも今後、新たな国際協力の形を考え、実践していきたいと思っています。

● ラオス

◆ サンパンナ村小学校図書館に図書等を寄贈しました

世界中で、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、ラオスでは現在まで 20 名の感染者が確認されています。(7 月 24 日に、4 月 12 日以来、20 番目の感染者が確認された。現在まで亡くなった感染者はなし。) 感染防止のガイドラインを守った上で、6 月上旬より、国内の学校も再開されています。

7 月 6 日、自治労三重県本部のご支援で、ビエンチャン都郊外にあるサンパンナ村小学校に併設されている図書館に、児童向け図書、4 年生と 5 年生のラオ語と算数の教科書、文具一式を寄贈しました。ラオスでは、教科書はラオス政府（教育・スポーツ省）から、小学校から高等学校に通う全児童・生徒に配布されます。しかし政府は十分な数の教科書が用意できないため、各学校はすべての児童・生徒に配布する分の教科書を受け取ることができません。サンパンナ村小学校では、1 年生から 3 年生までの教科書は必要な数を受け取ることができましたが、4 年生と 5 年生は児童の 6 割程度の冊数しか配布

がありませんでした。これまで 2 人の生徒が 1 冊の教科書を使い授業を受けていましたが、教科書が寄贈されたことにより、授業前に図書館から借りて 1 人 1 冊を手にながら授業を受けられるようになりました。

「物語や漫画本を読むのが好き



● 寄贈された図書を手にもって図書館内で写真に収まるサンパンナ村小学校の児童たち

です。歴史の宿題があったり、友だちと歴史のクイズを出し合ったりするので、時々、歴史の本も読みます。図書館はなくてはならない存在です。」と、4 年生のパリヤさんは笑顔で話してくれました。また、カムボック・ヴィラソン校長は、「図書館への継続的なご支援に、心より御礼申し上げます。2015 年に図書館が設立されてから、国内で開かれる学力コンテストで、本校の児童が優秀な成績を修めるようになりました。自治労三重県本部の皆様のご支援により『子どもたちの力』が伸びていることを実感しています。」と話してくれました。

自治労三重県本部の皆様、ありがとうございます。ご支援が、ラオスの子どもたちの未来を明るく照らしています。



● パリヤさん



国内

◆ 2020 年度会員総会を開催しました

例年、6 月上旬に開催しておりました会員総会を、今年は 7 月 21 日に開催しました。いつもは正会員の皆様に、可能な限りご参加いただきたい旨、お伝えしておりましたが、今年度は全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大の状況が見られることから、「委任状」、「書面

評決」によるご参加もあわせてご検討いただきました。皆様のご協力により、無事、2020 年度会員総会は成立、終了しました。ご協力いただきました正会員の皆様、ありがとうございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

2020 年度を迎えて

エファジャパン理事長・伊藤道雄よりご挨拶

2020 年はこれまで、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中が大きく揺れています。エファでは、6 月 13 日に「2020 年度会員総会」と「主催イベント・多文化共生社会をめざして～日本で暮らすラオス人から学ぶ～」の開催を予定していました。しかし、同感染症の拡大により、会員総会は 7 月 21 日に延期して規模を縮小して実施、イベントについては無期延期となっています。会員総会を無事終了し、理事長の伊藤道雄より、一言ご挨拶をさせていただきます。厳しい一年の決意表明です。

誰一人取り残すことなく 一人でも多くの子どもたちを笑顔にするため

2019 年度も多くの皆様から、温かく、多大なるご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。1 年間の活動の成果をご報告いたします。

2019 年度も私たちは、ベトナム、ラオス、カンボジアの子どもたちのために支援活動を行ってまいりました。ベトナムでは、5 年間続けてきたハイフォン市の障害児クラブ支援のまとめを行いました。同市の特に農村部で、障害児の社会参加の場を提供することができるなど、一定の成果を確認することができた一方、課題も認められました。今後の支援活動に活かしていきたいと考えています。ラオスでは、自治労組合員の皆様からの継続的なご支援により、多くの子どもたちに新しい図書を贈ることができました。またラオス図書館協会を中心とした図書検索システムの拡充の支援を実施しました。ラオスの子どもや学生にとって、図書館がより便利なものになる手助けができたと考えています。カンボジアでは、自治労岡山県関係職員労働組合連合の皆様のご支援により、プレアビビア州イエン村の寺子屋教室の修了生へ、中学校進学のための奨学金の支給を実施することができました。将来を担う子どもに、一筋の明かりを灯すことができたと考えています。

その他にも実施することができた多くの支援活動は、エファジャパン会員、パートナーの皆様、「書き損じハガキ」や「古本募金」を通じてご支援くださっている皆様による支えの賜物であり、深く感謝しております。支援を通じて現地の子どもたち、その家族、地域社会の人たちに、未来に向けて生きていく喜びと希望を抱いてもらう機会を、継続して提供できたのではないかと自信を持ってご報告いたします。

2020 年度は、2019 年末に確認された新型コロナウイルス感染症の拡大で始まりました。100 年に一度と言われ、また感染症が真に終息するまで今後、長い時間がかかるとも言われているこの困難な事態の影響を最も強く受けるのは、世界中の子ども、特に貧困家庭の子どもたちです。これまで支援してきた国々の、一人でも多くの子どもたちが、この困難を乗り越え、未来を担う力を身に付けることができるよう、2020 年度も教育支援の一翼を担っていきたいと考えています。

国連において 1989 年に採択された「子どもの権利条約」、そして 2015 年に国連で策定された SDGs（持続可能な開発目標）に則して活動して参ります。胸には、SDGs の基本的な理念、「誰一人取り残すことなく -No one will be left behind」、そして、「一人でも多くの子どもたちを笑顔にするため - To bring smiles to as many children as possible」、という思いを抱きながら…

今後とも皆様の温かいご理解とご支援を、心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）エファジャパン
理事長 伊藤 道雄



エファジャパン理事長・伊藤道雄



エファがカンボジアで支援を続ける、タイとの国境地帯に位置するブレア
ビシア州のイエン村にある寺子屋教室から昨年、一人の子どもが中学校に
進学しました。カン・メサさんという女の子です。現在、彼女は自宅を離
れ、エファの協力団体、SCADP が運営する児童保護施設で暮らしながら中
学校に通っています。彼女は自治労・岡山県関係職員労働組合連合のご寄
付で設立された奨学金基金より奨学金を得て、進学しました。彼女への励
ましの手紙が、同連合の大島委員長から届きました。全文をご紹介します。

寺子屋教室から中学校へ入学した

カンボジアの子どもへの手紙

カン・メサさんへ

初めまして。自治労・岡山県関係職員労働組合連合で執行委員長をしている大島と言います。SCADP での新しい仲間や中学校での新生活には慣れてきましたか。親元を離れての生活は、初めてのことでばかりで、不安と緊張と希望と楽しみが、メサさんの心の中に同居していたのではないかと思います。

私たち岡山県関係職員労働組合連合は日本の岡山県という自治体と精神科医療センターで働く約 3500 人の仲間の集まりです。労働組合は同じ職場で働く仲間と協力して、そこで働く仲間が安心して働いていけるように活動しています。あわせて、社会全体、大きな視点で言えば世界中の人たちが戦争や犯罪や貧困などが無い世界で暮らせるような社会が出来るように願い、様々な取り組みをしています。労働組合という組織はカンボジアでは馴染が無いかもしれませんね。

この私たちの組合が、2016 年に結成 70 年という節目を迎えました。この 70 年という節目の年に、組合員一人ひとりが参加して何かできないかと考えました。その「何か」が、メサさんにお届けできている奨学金の基金設立でした。世界にはメサさん以外にも学校にいけない子どもたちがたくさんいます。私たちはそんな子どもたち全員をサポートする力はありません。でも私たち一人ひとりでは出来ないことも、3500 人が集まれば、出来ることが少し広がります。今回、奨学金基金を創設することで、毎年、イエン村から一人ずつ中学校に進学するお手伝いをさせてもらうことが出来るようになりました。これは組合という組織の原点である「助け合い」だと考えています。

日本には「困った時はお互い様」という言葉があります。人は誰もがいつ困難な状況になるかわかりません。ですから、周囲に困っている人や援助が必要な人がいれば、手助けをするんですよ。だから、「助けを受けたとしてもそんなに気にしないでいいですよ」という言葉の意味です。そういう気持ちを誰もが持って行動することが出来れば、もっと素敵な世の中を作っていけると信じています。私たちも今回の取り組みや、メサさんとの関わりを通じて、労働組合という組織の可能性や、組合の存在意義についても改めて考えることが出来ました。メサさんからのメッセージも私たちを元気にさせてくれます。こちらこそ有難うございます。

メサさんもこれから中学校や SCADP での生活の中で、仲間と一緒に何かを成し遂げていくことの喜びや楽しさを感じることが多くあると思います。時には苦しいことや辛いことがあるかもしれません。しかし、これから先、メサさんが経験するすべてのことはメサさんの人生にとって大きな財産になると思います。メサさんにとって今回の奨学金制度を通じて、色々な可能性が広がり、チャレンジする機会が少しでも広がれば、私たちにとっても本当に嬉しいことです。私たちの奨学金制度も、メサさんを受け入れてくれている SCADP の皆さんや、エファジャパンの協力、そして何よりメサさんを送り出してくれたご家族の皆さんのご理解があったからだと思います。本当に感謝いたします。こうした多くの皆さんにメサさんは支えられています。

メサさん自身がこれから先、色々なことを学び、色々な人たちと出会い、色々なことを経験されると思います。私たちも同じ空の下の日本から、メサさんの活躍を祈っています。これからも頑張ってください。

自治労・岡山県関係職員労働組合連合

執行委員長 大島康治

★こちらのお手紙はエファ事務局で翻訳し、カン・メサさんにお届けしました。

SDGs教室 - 特別編 ① -

作画:ヘッポコ絵描きのyakko



新型コロナウイルス感染症は「未知の病?」

ウイルス保持者との接触や飛沫によって感染するといわれています。高齢者など免疫力の低下している人が感染すると重症化し、志村けんさんのように亡くなられてしまう方もいます。未だ分からないことが多いウイルスです。



人類の歴史は…
感染症や
偏見との
闘い

ペスト、コレラ、天然痘…人類の歴史は感染症との闘いです。同時に、感染者に対する偏見と差別が常に起きていました。今回は特に医療従事者やエッセンシャルワーカーなど、社会生活を営む上で欠かせない仕事に従事している人たちが同じ状況にあります。根拠のない偏見や差別が争いを生みます。

世界の子ども、途上国の子どもたちは

学校の閉鎖により、学習する機会が奪われています。仕事を失った保護者の子どもたちは今後、労働させる状況が増えるかもしれないと心配されています。



また、先進国と途上国、先進国内でも地域の格差によってインターネットを使えるかどうかで、新たな格差が生まれています。ドメスティックバイオレンスが増えているという報告もありました。

パンデミックの中で、私たちにできること

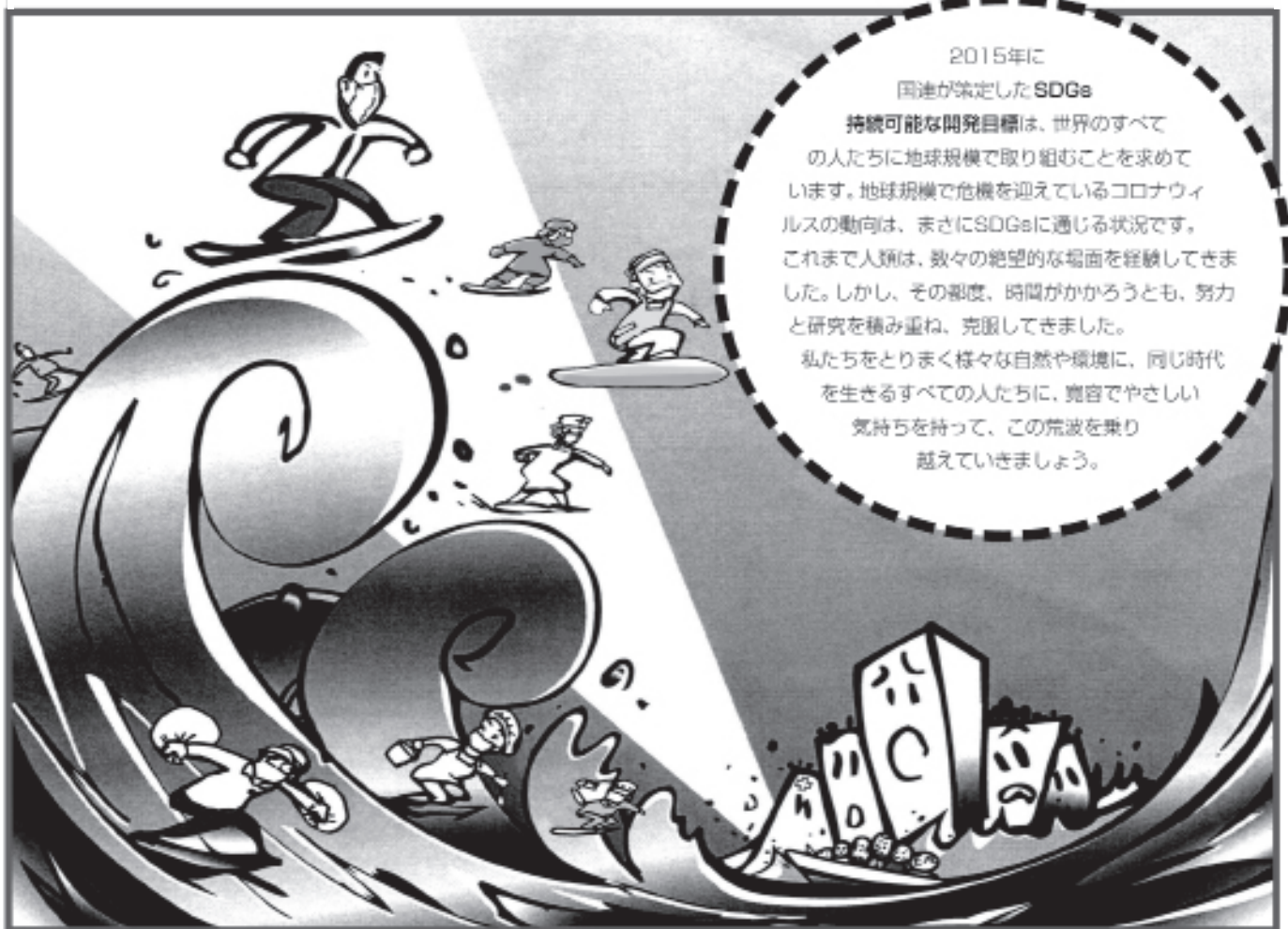
自分が住んでる場所と国だけが良くても、グローバル化が進んでいる現代では、根本的な対策にはなりません。世界中の人々や国が協力していくことが最も重要です。普段の生活では、社会的な距離をとり、手洗いなどの公衆衛生を守りながら生活していくことが大切です。



2015年に

国連が策定したSDGs

持続可能な開発目標は、世界のすべての人たちに地球規模で取り組むことを求めています。地球規模で危機を迎えているコロナウィルスの動向は、まさにSDGsに通じる状況です。これまで人類は、数々の絶望的な場面を経験してきました。しかし、その都度、時間がかかろうとも、努力と研究を積み重ね、克服してきました。私たちをとりまく様々な自然や環境に、同じ時代を生きるすべての人たちに、寛容でやさしい気持ちを持って、この荒波を乗り越えていきましょう。



お知らせ

2019年度

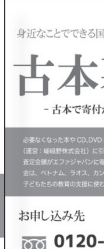
「書き損じハガキ」と「古本募金」のご協力ありがとうございました

ご報告が遅くなりました。2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）にご寄付いただいた書き損じハガキの合計は、延べ件数72件、ハガキ総計11,516枚でした。交換手数料を引き交換した切手の額面は、626,871円となりました。また、古本を買い取り販売する嵯峨野株式会社と提携し、エファを寄付先に指定する古本募金「きしゃぼん」へのご協力は、のべ72件、寄付額は153,853円となりました。たくさんのご協力、誠にありがとうございました。

募集

2020年度も「身近なことでできる国際協力」を！

2020年度も、「身近なことでできる国際協力」をお待ちしています。
今年度は、「使用済み切手」の募集も始めました。それぞれ、下記のご対応をお願いしております。

 使用済み切手 身近なことでできる国際協力 「使用済み切手」は、日本郵便の郵便局等に1kg単位で集めてもらってください。お集まりになった切手を、エファ事務局まで送付してください。切手は、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。切手は、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。 エファ事務局まで送付してください。切手は、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。 エファ事務局まで送付してください。切手は、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。	 書き損じハガキ 身近なことでできる国際協力 「書き損じハガキ」は、エファ事務局まで送付してください。ハガキは、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。 エファ事務局まで送付してください。ハガキは、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。 エファ事務局まで送付してください。ハガキは、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。	 古本募金 身近なことでできる国際協力 「古本募金」は、エファ事務局まで送付してください。古本は、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。 エファ事務局まで送付してください。古本は、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。 エファ事務局まで送付してください。古本は、エファ事務局で回収し、エファ事務局の口座に寄付させていただきます。
---	---	--

「使用済み切手」

➡郵便物に貼られている切手の、周囲約1cm程を残して切り抜き、エファ事務局まで直接お送りください。

「書き損じハガキ」

➡エファ事務局まで直接お送りください。

「古本募金」

➡0120-29-7000 までお問い合わせください。

エファジャパンは認定NPO法人です

認定NPO法人であるエファジャパンへの会費（正会員を除く）、寄付、古本募金などの支援は税制優遇の対象となります。詳しくはエファジャパンHPをご覧ください。エファジャパン事務局までお問い合わせください。

今号の表紙

皆様にご協力いただきました「新型コロナ緊急募金」による支援を受け、当面、施設が正常に運営されることになった、SCADPの児童保護施設で暮らす子どもたちです。感染予防のためマスクを着けていますが、笑顔があふれます。助け合って、笑顔の輪が広がることが、平和な世界を実現する第一歩だと思います。皆様のご協力に、重ねて感謝いたします。心よりありがとうございます。

えんぱわ エファジャパン広報誌 Vol.58
発行人・伊藤道雄 編集・エファジャパン事務局

Empowerment For All Japan エファジャパン

特定非営利活動法人エファジャパン

〒102-0074

東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3F

TEL:03-3263-0337 FAX:03-3263-0338

E-Mail:info@efa-japan.org

URL:http://www.efa-japan.org



HPはこちらから！➡

認定NPO法人エファジャパンは東南アジアで教育事業を実施するNGO団体です。エファ（Efa）とはEmpowerment for All「すべての人々に、力を。」の略。エファジャパンは支援を受ける人々が、自ら立ち上がる力を得ることを大切に考えています。